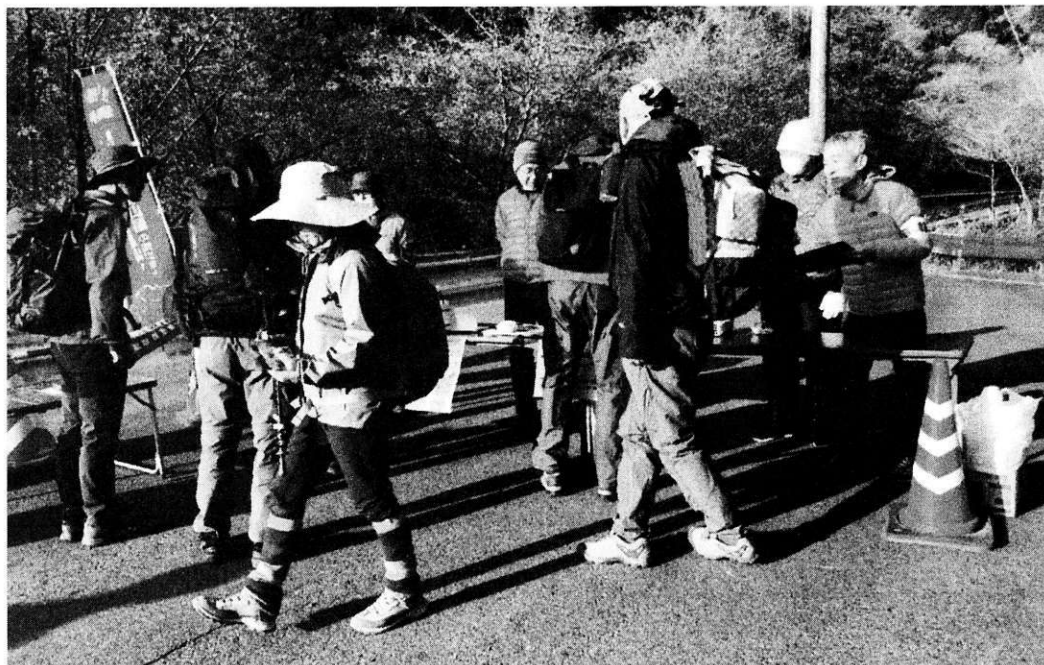


発行所 愛知県山岳連盟  
 発行人 伊藤 智彦  
 編集人 中平等 新一  
 名古屋市天白区中平3-1902  
 TEL&FAX 052-802-8062

◆ 8月22日(火) 第2回理事会 (web会議)

<http://aichi-sangaku.main.jp/>

御在所岳周辺の登山口で安全登山を呼び掛ける！



### 遭難事故防止啓発活動(御在所岳)

武平峠と中道登山口で実施

遭難対策委員長 中川 邦仁

令和5年4月22日(土)三重県山岳スポーツクライミング連盟主催の「春の安全登山と自然保護啓発活動」が行われました。愛知岳連からも4名が参加し、当日訪れた登山者に安全登山をよびかけました。6時前から9時頃まで、御在所岳の武平峠と中道登山口にて警察の方、地元山岳関係者の方と一緒に活動を行いました。

武平峠では今回初めて参加させて頂きましたが、ここは鎌ヶ岳や雨乞岳方面に向かう登山者も多く大変賑わっていました。またトンネルを挟んだ滋賀県側でも滋賀岳連の方々が同じく安全登山活動を行っていて、調査の為にアンケートをお願いしたり、登山届の届出と安全登山のパンフレットを配布し事故防止を呼びかけました。

半数以上が愛知県からの登山者でしたが、計画書を事前に準備していないグループもまだまだ多くこういった地道な活動の重要性を感じました。また天気が良かったとはいえ雨具や地図、ヘッドランプ等、非常装備を携帯していない登山者も多く、単独登山で

の道迷いや、非常装備の携帯など特に注意を呼びかけました。

三重県の関係者の方々が登山者に配布する為に飴や、スティックコーヒー、サブリメントを用意して頂き当日配布していましたが、大変好評で喜ばれていました。

当日は風が強く寒い日でしたが、天気に恵まれて、予定通り行うことができました。毎年、定期的に行われている活動ですので、これからも沢山の方に参加してもらい事故防止につなげていければと思います。

### GW中の遭難事故

警察庁は、ゴールデンウィーク(4/29～5/7)中山岳遭難が156件発生し、178人が遭難、このうち6県で11人が死亡し、行方不明者1人、負傷者は69人だったと発表。遭難者のうち81人が60歳以上だった。

全国の警察は、救助隊員ら延べ760人を投入し、ヘリコプターが40回出動して、捜索や救助活動に当たった。

# 猿投山で読図講習会・研修会

## 読図の楽しさを実感

5月28日(日)、読図の講習会&研修会を、豊田市にある「猿投棒の手ふれあい広場」で開催しました。読図講習会の講師は、昨年に引き続き、国立登山研修所講師・豊川山岳会所属の河合芳尚氏に務めていただきました。指導員を対象とした読図研修会(ナビゲーションスキル研修会)の講師は国立登山研修所主任講師・春日井山岳会所属の北村憲彦理事長にお願いしました。

### 〔講師総評〕

等高線の表現力を理解する！

### 河合 芳尚

5月28日(日)、猿投山麓・猿投棒の手ふれあい広場にて、愛知県山岳連盟主催の読図講習会を開催した。ここ10年ほど、コンパスの使い方に特化した講習会を名古屋・大高緑地公園で行っていたが、今年度から本格的な地図読み講習会を開催することにしました。12名の参加者(定員10名)が集まった。今回使用した地図は、今年2月に開催されたオリエンテーリング協会で使用された地図をご厚意により使用することができ、講習会に役立った。(地図は現地調査を行い、国土地理院地図を加工したものを利用)

まず始めに、全員でプレイトコンパスの使い方「コンパス1・2・3」の実習&おさらいを行いました。次に初心者レベルのオリエンテーリング(OL)を実施しました。順番に先頭を交代しながら約3時間かけて22ポイントを巡っていくことにより、読図の面白さ・楽しさ・奥深さへの新たな発見があったように思います。「読図ができるようになって」

て、うれしい！」と実感していただけた講習会&研修会だったように感じました。(岩瀬 幹生)

地区で開催され、賑やかな講習会&研修会となった。(研修会の講師は、北村理事長) 今回の講習会のテーマは、「等高線の膨らみやクビレが、実際の地形ではどのようになっているか確認し、地図の楽しさや興味を持ってもらう」というテーマで行った。サブテーマは「国土地理院地図と人が確認し地図を加工すると、等高線の意図が感じられるようになってほしい」という気持ちを含めた。講習会では、最初の②から③のポイントへ向かう区間では、国土地理院地図と今回使



用した詳細地図の読み比べを行い、等高線の表現力を理解してもらった。また、中盤から後半にかけて、先頭を交代しポイントの位置確認を行った。受講生の皆さんは、とても真剣に受講していただき、講師としての教え甲斐と手ごたえを感じた。来年度へ向けての良い流れができていければ良いかなと思います。

### 講習会を受講して

### 地図から情報を読みとる

やまびこ山想会  
森崎 幸子

指導員養成コースに参加しました。初めに豊川山岳会の河合講師による説明からプレイトコンパスの使い方を復習しました。次に、指導員養成コース北村講師から実際にやってみてからの意見を聞かれました。ここが先ず肝心なところで、指導員側は語る(教える)のではなく、受講者の話を聞きだすことから始めることが大事とのことでした。受講者側は、話すことにより、自分が理解できていない点が明確になったり、理解を深めたりすることが出来るからだそうです。

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

### ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号  
(地下鉄・久屋大通駅から徒歩2分) 丸の内東桜ビル1004号室

TEL: 090-4857-9130

URL: <http://www.nygs-office.com/>

その後、実際の登山道を歩き「地図からの情報をどれだけ読み取るか」この重要性を認識しました。登山中は、先ずは現在地を確認するために以下の3つの要素を読み取る事。現在地から見える尾根や谷などの情報・この地点に至る登山道の情報・これから行く道の情報、この3要素を地図から読み取り照らし合わせ自分の位置を特定し、次にこの先の目標地点としてピークやコルなどを設定して歩くことにより、道迷いを減らすことが出来るということです。これらは、実践してこそ身につ

くスキルなので、計画書を作成するときにはしっかり読図を

### 第1回登山勉強会

## 確保理論

23年度第1回登山勉強会が「確保理論」をテーマに5月30日(火) 19:30~20:30にWebexを使ったweb会議形式で開催された。講師は多田純一氏(JSPPO・山岳コーチ2)で、墜落時にどのような力が働くか予測する術を身につけ確保技術を理解することを学習目標として講義された。6月11日の指導員研修会(南山)、6月17、18日の確保技術研修・講習会(鞍ヶ池)の事前勉強会でもあった。

内容は、①ロープの特性、②確保理論、③確保技術、となっており事前に国立登山研修所が発行している「新・高みへのステップ 第4部」の「確保理論」(159~170ページ)を読むことを推奨された。

行って作成し行動していきたいと思えました。

「技術」と「理論」は、車の両輪のようなもので確保理論をしっかりと学ぶことで技術力も高まると思われた。確保のポイントには、①充分なクリアランス(隙間)を保つこと、②「落下係数」をコントロールして衝撃力を抑えることである。講義では、落下係数とダイナミック係数について詳細な説明があり理解が深まった。

また、ダイナミックブレレイにおいて、理論的にはロープを送り出すことで衝撃力が小さくなるが、現実的には、意図的にロープを送り出さず、強靭な力がかかる普通の人には頑張りも出してしまう。意図的に出そうとするので、ロープから手が外れたりということもありうる。基本は制動手はしっかりと持つ。よとの実践的な話も聞いた。テキストだけでは学べない。実践的な知見を経験豊富な講師や参加者から聞けるのは楽しく、ためになり、web勉強会ならではの利点と言えるだろう。

やまびこ山想会  
近藤千加子

## 印象に残った私の登山

38

### 劔岳八ツ峰 バリエーション

犬山山岳会  
西澤 浩

印象に残った私の登山は、2018年7月の劔岳八ツ峰バリエーションです。私にとっては2011年の前穂高北尾根、2015年の北鎌尾根に続いての三大岩稜最後のチャレンジでした。

初日は立山駅から室堂を経由して劔山荘に宿泊、翌二日目岩稜のメインとなりますが、その日は晴天に恵まれ、美しい自然の中での冒険が待っていました。早朝午前3時30分、ヘッドライトでの出発、初めての劔岳八ツ峰バリエーションに胸が高鳴り、ワクワクが止まりませんでした。限られた日程でのチャレンジで516のゴルから峰に取り付き最初の登りは急勾配で、身体が慣れるまで息もつかせぬアップヒルが続きましたが、周囲の美しい景色に目を奪われながら歩くことで、疲労も忘れてしまいました。山頂を目指す喜びを満た50mロープを交互に使用しながら効率良く連続する岩稜と懸垂下降をクリアしていきます。手に汗握る瞬間もありま

したが、困難を乗り越えた時の達成感は格別でした。劔岳の稜線にたどり着いた時は息をのむほどの絶景が広がっており、新鮮な空気と雪の白さに包まれまるで別世界に迷い込んだような気分になり、雄大な山々に囲まれ雲海の上に立つような感覚は言葉では表現しきれないほどの感動でした。この瞬間のため、長い道のりを歩んできたのだと実感しました。しかし、山頂に立った喜びも東の間、下山の難しさが待っていました。急な斜面や岩場を慎重に下りる中で、私たちは仲間同士の手を深めることができました。お互いを励まし合いましたが、一歩一歩確実に下山しました。

劔岳八ツ峰バリエーションの登山は、身体的な過酷さと精神的な成長の両方を経験することができました。自然の厳しさと美しさに触れ、限界に挑戦する喜びを味わいました。この経験は私の心に深く刻まれ、一生忘れることはありません。

登山を通じて、私は自分の可能性に気づかされました。努力と勇気を持って挑戦すれば、どんな困難な山でも越えることができるのだという自信が芽生えました。

うなぎ錦三丁目 い ぼ しょう



〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号  
TEL <052> 951-1166 番  
営業時間 午前 11:00~午後 2:30  
午後 4:00~午後 8:00  
定休日 日曜日・第二・第三月曜日



冬山装備のメンテナンス工房  
**HAREYAMA**

なにより「安全」のためです。命を守ってくれる相棒を大切に。

冬山装備のメンテナンス  
アイゼン・ピッケル研ぎます



株式会社ウォームリンク  
〒470-0135 愛知県日進市岩崎台 1-130  
Tel. 0561-72-2805



hareyama.net





### 前穂高北尾根 〜チーム猫屋敷〜

・日程 5月2日〜3日  
・メンバー 鹿島(記録)、岩田

今年のGWは同会の岩田さんと前穂高北尾根へ。岩田さんは夏に同ルートを経験があり、自分は初めてだった。天気予報も味方をしてくれそうだったので、クラシツクルートの踏破に胸を躍らせて臨んだ。

▲5/2 天候…晴  
7・00上高地、9・50横尾、12・30濁沢

初日は上高地から濁沢までのアプローチ。年々雪が少なく本谷橋の渡渉点からようやく雪が出始めた。見えてから中々近づかない濁沢ヒュッテを目指し、雪の照り返しに汗を流しながら歩を進める。本日の濁沢はテント100張りくらいか、連休の間の平日なのでまだまだしもしれない。取り付きの偵察に向かうが新

しいトレースは無いよう。ピールとつまみを嗜み、早めの夕飯を平らげて就寝。  
▲5/3 天候…晴  
3・45テンド場発、6・305・6コル、10・003・4コル、12・20山頂、13・50岳沢、15・45上高地  
翌日、ヘッドン、アイゼン装着でテンド場を出発し5.6のコルを目指した。尾根を一つ巻いて雪壁を登っていると日が昇り始め、目指す先が見えてきたが、どうやら回り込み過ぎたようだと判明。雪壁をトラバースし5.6のコルへの雪壁へ戻る。稜上には新しめのトレースがあり、トレースに沿って5峰を登る。噂通りの浮石の量だが、岩田さん曰く夏よりはマシだそう。4峰へはコルからしばらく雪稜を登ると岩壁に突き当たる。ここでルート図を読み違えて濁沢側へ巻いてしまいが、奥又白側の雪壁を巻いて登るのが正解。濁沢側もハーケンが打つてあるが、傾斜は強ルーフアイに苦勞し、確保無しで登るにはリスクが高いためクラムダウンで岩壁基部へ戻る。正規ルートは、雪壁から稜上への乗越とその先のハンダ下トラバースが嫌らしい。3.4のコルへ下ると慶應尾根から北尾根を詰めてきたという先行パーティが登攀準備中だ

だった。1P目、左へ巻いて直ぐ上がるとスラブでアイゼンには厳しいとの情報があり、もう一段階左へ巻いた四角を上がり残置で支点を取る。2P目、雪稜を少し上がった後ナムニー状のデイエードルを登る楽しいピッチ。追いついた先行パーティから先を譲っていたが、岩田さんの記憶では登攀は終了とのことだったのでザイルを畳むが、再び岩塔が現れる。基部までいくと出だしがハンクして進んだ。2峰からはザイル不要で腐った雪と浮石に注意しながら前穂頂上へ。無風快晴で素晴らしい山頂だった。  
アタック前日に前穂で滑落事故があったよう。確かに雪は少なく、下降のダイレクトルンゼでは岩が出ていた箇所もあった。クラムダウンを混ぜつつ慎重に下り、奥明神沢に合流後は露岩と汚れたデブリが減ってからシリセードで岳沢へ。標高を下げるとうちに夏のような暑さ。上高地到着前、岳沢湿原の遊歩道付近で小熊に遭遇した。幸い向こうから去っていったが、付近ではクマの親子が住み着いているらしい。山行目標の達成は喜ばしいが、年毎に騒がれる環境の変化を春山合宿でも感じずにはいられない連休でもあった。



### 角田山・鳥海山 〜豊橋山岳会〜

・日時 5月2日〜5月5日  
・メンバー L鈴木克、SL久保田、宮道、入山、米倉(記録)

今年のGWの天気は当初微妙だったが、合宿が近づくにつれて好転していきこれ以上ない恵まれた春山合宿となった。  
2日夜、本日の宿となる角田岬駐車場に到着。日付はすでに変わっていた。早々にテントを張り就寝。  
翌朝テントから出ると青い空に海。そして丘の上に灯台が建っており絵になる景色だ。  
▲5月3日(角田山 灯台コース)

ゆっくりと準備をすませ7時少し前に登山を開始した。灯台の建つ丘に向かうと丘にトンネルが見える。トンネルの先は「名勝 半官かくし」

で断崖絶壁の岩場になっておりなかなかの迫力だった。灯台の方に歩を進め灯台を越え少し登った所から振り返るとインスタ映えするような景色が広がっていた。登り始めてすぐだが灯台コースのハイライトと言ってもいいと思う。その後、山頂に向けて歩くのだが、傾斜がきつく足にくる。散歩くらいの気持ちだった為予想以上の強度が体に堪えた。8時40分、山頂に到着。少し休憩した後には下山をした。下山後は食事をすませ、早々と次の目的地になる鳥海山へ向けて移動。検索で出てきたスーパが閉店してたりでゲートを通過したのは16時半

〜 アジア最大のスポーツの祭典 〜

## 第20回 アジア競技大会

(2026/愛知・名古屋)

日時 2026.9.19(土)〜10.4(日)  
会場 瑞穂公園陸上競技場 他  
主催 アジア・オリンピック評議会

を過ぎていた。鉢立登山口の駐車場でテントを張り美味しい鍋を食べる。日本海に沈む夕日に感涙した後に就寝した。

▲5月4日(鳥海山 鉢立ルート)

起床予定は4時だったと思う。3時過ぎた頃にはすでにテントの中はガサガサとしている。年寄…いや山ヤの朝は早い。

5時に行動開始。登り始めてすぐの展望台に出るとなんもいえない雄大な景色が。久保田さんが日本の山じゃないみたいだよ。って言ったられたが正にそう思う。しばらくは遠くに見える本日の目的地である新山を見ながら遠さうんざりしつつ、西を見ると空に浮かんでいるように見える月山を見ながら快適に歩を進める。

7時半には鳥海湖のある御浜小屋に到着。鳥海湖は雪に覆われていた。ここで足に不安のある入山さんは待機することになり、4人で先に進む事に。登りは途中分岐する外輪山ルートを取る。若干岩混じりもあるが特に危険箇所はなかった。七高山が見えた時にはどこからこんな人が湧いてきたんだと思うほど人が溢れている。七高山山頂付近で右手側を見ると多くの人が登ってきていた。GWのパックカントリーのメッカなのに人が少ないとは思っていたが、こちらがメインのルート

のようだ。簡単に撮影を済ませ新山へ。無雪期は岩々しい山頂で集合写真を撮りやすい。山頂で覆われ歩きやすい。本海の見える景色を堪能しつつ下山とした。当初下山も外輪山ルートの予定だったが千蛇谷ルートから。途中少し怖いトラバースはあったが御浜小屋で入山さんと合流できた。途中シリセードをしたり展望台では後ろ髪をひかれつつ14時30分に登山口に到着した。20年の秋以来、二度目の鳥海山でしたが、前回ここは素晴らしい山だなと感じたが、今回もまた素晴らしいさを再確認できました。

常任理事會

- ▼6月6日(火) OMC Web (審議・お知らせ事項)
1. 指導員研修会 (6/11) 確保技術講習会・研修会 (6/17・18 鞍ヶ池)
  2. 指導員総会 (6/27 We b) 木田、高木
  3. JMSCA5年度全国遭難対策委員長会議・研修会 (6/30東京) 中川、有富
  4. 登山勉強会 (7/11 沢登り講師永田) 木田、高木
  5. 東海ブロック大会 (7/15) 16国体監督の件
  6. 第1回高等学校SC講習会 (7/17 暮らしの杜ジム)
  7. 北谷小屋について
  8. 役員・理事會へ6推せん (副会長・栗木、理事・三嶋) 今泉、北村
  9. その他

令和5年度 春山入山状況

R5.4.17現在

▲槍・穂高方面

(No.)	(所属団体名)	(登山期間)	(登山ルート)	(リーダー)	(人数)
1	豊川山岳会	4/29 ~ 4/30	合戦尾根 ~ 燕岳 ~ 合戦尾根	上田 歳彦	5名
2	デンソー山岳部	4/29 ~ 5/1	蝶ヶ岳ヒュッテ ⇒ 常念岳 ⇒	館谷 昌弥	6名
3	トヨタ自動車山岳部	4/29 ~ 5/3	横尾 ~ 濁沢 ~ 北穂 ~ 濁沢 ~ 奥穂 ~ 濁沢 ~ 横尾	井出 敦夫	2名
4	チーム猫屋敷	5/1 ~ 5/4	濁沢 ~ 北尾根 ~ 前穂高 ~ 岳沢	鹿島 崇人	2名
5	豊橋山岳会	5/1 ~ 5/5	明神東稜 ~ 奥明神沢 ~ 奥穂 ~ 吊尾根 ~ 岳沢	岩本 英基	1名
6	岡崎山岳会	5/4	位ヶ原山荘 ⇒ 剣ヶ峰 ⇒ 三本滝P	彦阪 明宏	3名
7	チーム猫屋敷	5/4 ~ 5/7	ひょうたん池 ~ 明神岳 ~ 岳沢	鹿島 崇人	3名

▲剣・後立山方面

1	豊橋山岳会	4/28 ~ 4/29	一ノ越 ~ 雄山 ~ 一ノ越 ~ 龍王岳 ~ 一ノ越	平野 史子	3名
2	岩倉山岳会	4/29 ~ 4/30	丸山 ~ 唐松山荘 ~ 唐松岳 ~ 八方池	加藤 幸博	2名
3	豊橋山岳会	5/2 ~ 5/6	池ノ谷 ~ 劔尾根 ~ 劔岳 ~ 早月尾根	木村 崇	2名
4	名古屋山岳会	5/1 ~ 5/4	僧ヶ岳 ~ 毛勝山 ~ 猫又山	天野 英雄	2名
5	豊橋山岳会	5/3 ~ 5/6	僧ヶ岳 ~ 毛勝山 ~ 猫又山	中村 広志	2名
6	やまびこ山想会	4/29 ~ 4/30	笹ヶ峰 ⇒ 高谷池 ⇒ 火打山 ⇒ 笹ヶ峰	三嶋 信	8名
7	〃	5/3 ~ 5/5	遠見駅 ⇔ 遠見尾根 ⇔ 五竜岳	宮森 千治	8名
8	豊川山岳会	5/3 ~ 5/5	天狗尾根 ~ 鹿島槍ヶ岳 ~ 赤岩尾根	白井 良岳	4名
9	〃	5/5 ~ 5/7	猿倉台地 ~ 双子尾根 ~ 杓子岳 ~ 猿倉台地	河合 芳尚	5名

▲その他方面

1	豊田山岳会	5/2 ~ 5/5	別当出合 ~ 南滝 ~ 室堂 ~ 劔ヶ峰	磯部 誠	7名
2	豊川山岳会	4/30	中山峠 ~ 西天狗岳 ~ 高見石小屋	廣田 和貴	3名
3	中央アルパインクラブ 春日井山岳会	4/29 ~ 5/5	・ 焼山北面台地 ・ 鳥海山湯の台、中島台 ・ 月山念仏ヶ原	坂口 公美	2名
4	安城こもれび会	5/5 ~ 5/7	千畳敷 ⇔ 木曾駒ヶ岳 ⇔ 三ノ沢岳	古橋 彰	13名

小さな掛金、大きな補償

# スポーツ安全保険<sup>®</sup>

**4**  
4名以上の団体・グループで  
ご加入ください。

**保険期間**

令和5年4月1日  
午前0時から  
令和6年3月31日  
午後12時まで

**保険内容**

詳しい保険の内容は、  
ホームページなどを  
ご覧ください。

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども (中学生以下)	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円
		B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円
子ども (中学生以下)	ワ(個人活動補償型) イド コ ー ス	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW 1,450円
大人 (高校生以上)		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下 4,850円
		B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上 5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。  
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和5年4月1日」を基準とします。



パソコン・スマホで  
だれでも、かんたん  
便利に使いやすい!



## 公益財団法人 スポーツ安全協会

スポーツ安全保険 検索



本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社  
担当課 公務第2部 文教公務室 ☎0120-233-801  
(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和5年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保